

令和3年度 第2回理事会の開催

令和3年度 第2回理事会が令和3年6月23日、明治記念館・末広の間においてWEB併用にて開催された。本理事会では、協議事項として1議案について協議し、了承された後、説明・報告事項、日本獣医師連盟の活動報告等について、説明、報告が行われた。第2回理事会の議事概要は下記のとおりである。

令和3年度 第2回理事会の議事概要

I 日時：令和3年6月23日(水) 10:30～12:00

II 場所：明治記念館・末広の間

III 出席者：（*はオンラインによる出席者）

【会長】 藏内勇夫

【副会長】 砂原和文*

村中志朗

境 政人（兼専務理事）

【地区理事】 高橋 徹（北海道地区）

浦山良雄（東北地区）*

鳥海 弘（関東地区）

安田辰巳（東京地区）

宮野浩一郎（中部地区）*

玉井公宏（近畿地区）

木原敏博（中国地区）*

篠原公七（四国地区）

草場治雄（九州地区）*

【職域理事】 佐藤れえ子（学術・教育・研究）*

西川治彦（産業動物臨床）*

大林清幸（小動物臨床）*

横尾 彰（家畜共済）

仲山美樹子（家畜防疫・衛生）*

加地祥文（公衆衛生）

佐伯 潤（動物福祉・愛護）

栗本まさ子（特任）

【監事】 宇佐美 晃*

小山田富弥*

柴山隆史*

【顧問】 酒井健夫

IV 議事：

【協議事項】

第78回通常総会対応に関する件

【説明・報告事項】

1 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく指定登録機関の指定に関する件

2 職域別部会委員会委員候補者の推薦に関する件

3 新型コロナウイルス感染症への対応に関する件

4 豚熱の予防的ワクチン接種等の防疫措置について（要請）

5 特別委員会に関する件

6 部会委員会に関する件

7 職務執行状況に関する件（業務運営概況等を含む）

【その他の報告・連絡事項】

1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

V 会議概要：

【開会】

事務局から定款第41条に規定された定足数を満たし、本理事会が成立すること、オブザーバーとして本会顧問である酒井健夫顧問に出席を依頼したことが報告され、開会した。

【会長挨拶】

1 冒頭、藏内会長から大要以下の挨拶がなされた。

「コロナ惨禍でご苦勞の多いなか、対面とWEBの両面でご出席を賜り皆様に感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの新規感染者数は全国的に広がりを見せていたが、徐々に新規感染者数は減少している。各地に緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発令されていたが、現在は一部解除となった。オリンピックの開催に向け国内の感染状況や開催形式など、国民の皆様が不安をお持ちである。

こうしたなか、感染防止の切り札と期待されるのはワクチン接種だろうと思う。私も6月18日に2回目の接種を終えた。1回目とは異なり、腕が腫れ痛みと倦怠感もあった。2回目を接種すると安心感が生まれやすくなるが、気を緩めることなく、しっかりした感染対策を堅持していかなければならない。全国的にワクチン接種が順調に進み、本感染症の一日も早い終息を願うところである。

本理事会も感染拡大防止を第一に考慮し、WEB併用での開催とさせていただいた。円滑な議事運営にご協力をお願い申し上げます。このうち、第78回通常総会を控えているので、挨拶は後に譲り、本理事会においては、ご出席の皆様から忌憚のないご意見を頂戴し、総会の適

正な運営に資することとしたので、重ねてよろしくお願ひ申し上げ、挨拶とさせていただきます。」

2 定款第40条の規定に基づき、藏内会長が議長に就任し、以下の議事が進められた。

【協議事項】

第78回通常総会対応に関する件

境副会長兼専務理事から、第78回通常総会における議事運営等について説明され、異議なく了承された。

【説明・報告事項】

1 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく指定登録機関の指定に関する件

境副会長兼専務理事から、本会が令和3年5月14日付けで申請した件について、「動物の愛護及び管理に関する法律に基づく指定登録機関の指定に係る決定について(通知)」(令和3年6月15日付け環自総発第2106151号)をもって、動物の愛護及び管理に関する法律等の一部を改正する法律附則第5条第4項の規定により適用する法第39条の10第1項の規定に基づき、本会が単独で指定登録機関に指定されたことが報告された。

2 職域別部会委員会委員候補者の推薦に関する件

境副会長兼専務理事から、令和3・4年度の職域別部会常設委員会(学術・教育・研究委員会、産業動物臨床・家畜共済委員会、小動物臨床委員会、家畜衛生・公衆衛生委員会、動物福祉・愛護委員会、総務委員会)について、5月末日までに地方獣医師会へ推薦を依頼したことを踏まえて、検討テーマ及び委員候補者の説明がなされた。

3 新型コロナウイルス感染症への対応に関する件

境副会長兼専務理事から、令和3年6月7日に、本会事務局職員1名に新型コロナウイルス感染症の陽性が確認されたことを報告し、①「日本獣医師会事務局における新型コロナウイルス感染事例の発生への対応について」として、地方獣医師会並びに関係省庁等へ通知したこと、②感染拡大の防止を第一に考慮し、他の事務局職員についても健康管理、在宅勤務、PCR検査等の徹底に努めたこと、③保健所の指導のもと、濃厚接触者とされる職員3名について、2週間の出勤停止としたこと、④現在も緊急事態宣言が発出されていることにより、事務局職員の週3日の在宅勤務体制で職務を遂行している旨、説明された。

4 豚熱の予防的ワクチン接種等の防疫措置について(要請)

(1) 境副会長兼専務理事から、以下の説明がなされた。

ア 家畜伝染病予防法の改正に伴い、昨年12月に豚熱ワクチン接種に民間獣医師の活用を可能とすることが閣議決定されたことを受けて、令和3年6月10日付けで地方獣医師会会長宛てに「豚熱の予防的ワクチン接種等の防疫措置について(要請)」を発出し、各都道府県から知事認定獣医師として支援要請を受けた場合には、速やかに対応いただくよう地域防疫体制の構築に尽力いただきたい。

イ 同じく6月10日付けで農林水産省消費・安全局長宛にも要請活動を行い、①飼養衛生管理基準遵守のために、各農場で設置が義務付けられた農場管理獣医師に健康管理指導等を一元化してほしいこと、②地方獣医師会作成の豚熱ワクチン接種支援可能獣医師リストを活用してほしいこと、③家畜所有者と農場管理獣医師等との自発的な契約に基づく賃金設定にしたいこと、④国及び都道府県においては、飼養衛生管理基準等の遵守指導に当たっては、法令に準拠したしっかりとした対応を求めることを要請した。

ウ 地方獣医師会へ作成にご協力いただいた豚熱ワクチン接種支援可能獣医師リストであるが、42地方獣医師会より回答を得て、合計として1,448名の支援可能獣医師があり、該当なしまたは必要なしと回答したところが13地方獣医師会という結果になった。

エ これらの要請内容については、一般社団法人日本養豚協会、公益社団法人中央畜産会、一般社団法人日本養豚開業獣医師協会にもお知らせしている。

5 特別委員会に関する件

(1) 境副会長兼専務理事から特別委員会の開催状況に関する説明がなされた。

(2) 続いて、「One Health」推進検討委員会については委員長である草場理事から、①各地方獣医師会でワンヘルス体制が進んでいるのかアンケートを実施し、福岡県と徳島県で特にワンヘルス体制が進んでいることがわかった、②福岡県ではワンヘルス推進基本条例が施行されたが、これをモデルケースとして、今後それぞれの地域に応じた対応事例を増やしたい旨を提言した旨の説明があった。地域、医師、環境問題、災害等、あらゆる問題がワンヘルスに結びつくものであり、今後も鋭意努力して推進していくと述べられた。

6 部会委員会に関する件

(1) 境副会長兼専務理事から部会委員会の開催状況に関する説明がなされた。

(2) 各委員会の担当理事から、以下のとおり委員会の報告がなされた。

ア 学術・教育・研究委員会について、佐藤理事から①獣医師生涯研修事業のポイント申請者数が近年著

しく減少しており、問題点として、ポイント申請によるメリットを見直す必要がある等の意見が出ている、②今後の委員会の進め方として、オンライン技術の活用が非常に有効であることから、WEBを活用した取組みを増やすこと、③在宅研修向けの教材として、現在日獣会誌に掲載されている獣医師生涯研修Q&Aの冊子化を図ること、④認定証の取得制度の年限の見直し等が求められることが説明され、今後体制が整備されていく認定・専門獣医師制度に係る事業と連携していきたい旨が述べられた。

イ VMAT養成カリキュラム等検討小委員会について、佐伯理事から①地方獣医師会への災害対応状況に係るアンケート調査を実施し、全国的に、VMAT養成研修に対して高い関心を持っており、災害対策活動を行う際の保障・保険等の問題とともに、日本獣医師会としても対応を検討していく必要がある、②VMAT養成の在り方として、これまでは地方獣医師会が組織するVMAT会員のための講習会という位置づけが多かったが、今後、認定・専門獣医師制度の中に組み込むよう検討している、③地方獣医師会から講習会の開催希望も届いており、認定・専門獣医師制度に組み込むための新しいカリキュラムができるまでは、従来型の研修会の継続を考えている、④コロナ禍を経て、オンライン研修会やeラーニング教材を用いた講習会などを含めて、新たな形の講習会の検討も行っていく必要がある旨、説明された。

ウ 学校動物飼育支援対策検討委員会について、佐伯理事から①今期の報告書として、同委員会及び公開型拡大会議、意見交換会等の開催と、学校動物飼育支援実態調査や「がっこう動物新聞」の発行、学校動物飼育支援2020東京宣言の採択、長期臨時休業中における学校動物の適切な管理について取り組んだこと、②今後は、学校におけるOne Healthのより実践的な取組みに向けた検討を行うこと、③改正動愛法に基づき、地域において策定される動物愛護推進計画のなかで、学校飼育動物がどのような形で扱われるのか引き続き関心を寄せること、④地域学校協働活動に関わる検討、⑤今後も引き続き、学校動物飼育支援実態調査と「がっこう動物新聞」の発行を継続することが報告された。

エ 女性獣医師活躍推進委員会について、栗本理事から①女性獣医師の活躍推進のための理解醸成のため、市民公開シンポジウムを開催し、過去のシンポジウムも含めて全てのシンポジウムを女性獣医師応援ポータルサイトに掲載していること、②女性が仕事を続けやすい(復職しやすい)環境づくりのための参考事例として、規程類のひな形を女性獣医師

応援ポータルサイト上に公開したこと、③日本獣医師会ホームページの人材募集サイトについて、女性獣医師が検索しやすい仕様変更を進めていること、④女性獣医師応援ポータルサイトは閲覧数が増加(現在1万8,000人超え)しており、現在39地方獣医師会でホームページにポータルサイトへのリンク(バナー)も載せていただいていること、⑤2020年を目途に地方獣医師会において最低1名は役員を女性にすることを目標として設定していたが達成できず、女性役員のいない地方獣医師会が14カ所存在していること、⑥日獣ロゴについて、獣医師としての社会的使命の自覚や誇りを共有して、加入促進にもつなげたいという意図からロゴの活用を提案した結果、令和元年度(7月12日付け事務連絡)にて地方獣医師会へ協力要請を実施したこと、⑦女性獣医師活躍推進のための取組状況の調査は令和2年度は実施できなかったが、来期は定期調査の一つとして実施を予定していること、⑧来期は新たな対策を提案することはなく、これまでの対策についての課題、改善の方策等、具体的に示すことに注力し、地方獣医師会、大学、職場等、それぞれにおける取組みの推進の参考にしていただけるような展開を考えることが説明された。

(3) 以下の質疑応答がなされた。

ア 令和2年度の事業計画において、組織率強化の取組みとして、日本獣医師会事務局の再編や地方獣医師会との役割分担、健全な財政運営等について、具体的な方向性を検討する旨記載されていたが、検討の進捗状況を報告いただきたいとの要望が出された。

イ 回答として、いずれも総務委員会で現在検討中であるが、①地区学会の対応については、地方獣医師会からのご意見を頂戴しながら早急に取りまとめ、来年4月からの円滑なスタートを目指すこと、②休会制度等については転勤時の入会金をはじめとする会費の課題は、本会としてできる限り支援すること、③組織強化のための具体的な会員構成獣医師へのメリットとして、本会が指定登録機関に指定されたことに伴うマイクロチップの登録・装着業務や狂犬病予防事業とのワンストップサービスなどを充実させ、会員構成獣医師が取り組む仕組みを整えることで、魅力ある獣医師会活動の実現を目指すこと、加えて、認定・専門獣医師制度を確立し、研修内容等の向上により学術的な高度化を図ることとし、他の委員会とも連携しながら具体化に努めたい旨、説明された。

ウ 来期の総務委員会の検討テーマは、組織率の向上対策であるが、地方獣医師会との役割分担についても引き続き検討がなされるのかという質問があった。

エ これに対し、地方獣医師会との役割分担と会員組織率の向上の2点は、非常に重要な案件であると理解しており、今期も継続して検討を進める旨、説明された。

7 職務執行状況に関する件（業務運営概況等を含む）

境副会長兼専務理事から、令和3年5月1日以降5月31日までの本会の業務概況等について報告された。

【その他の報告・連絡事項】

1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

境副会長兼専務理事から、当面の関係会議等の開催日程について説明され、多くは書面開催やWEB併用になる旨の説明がなされた。

2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

境会計責任者から、①日本獣医師連盟も役員改選を迎え、この7月から新体制に移ること、②第78回通常総

会・第3回理事会を終えた後に、本年度2回目の日本獣医師連盟の役員会を開催し、日本獣医師会との間での一体的な役員体制、今後の役員配置等について共有することとしている。③国政選挙への対応として、第26回参議院選挙があり、その推薦候補について協議したこと、④今年は、政治日程が立て込んでおり、7月4日に東京都議会議員選挙があり、衆議院については10月21日に任期満了となることから秋に総選挙を控えている、また、参議院については、来年7月25日が任期満了となり、参議院選挙があると説明がされ、各理事あるいは地方獣医師会においては、活動にご支援をいただくとともに、ご協力を賜りたい旨が述べられた。

【閉 会】

藏内会長からすべての議案が終了した旨報告され、円滑な議事進行への協力が御礼が述べられた後、事務局から閉会が告げられた。